

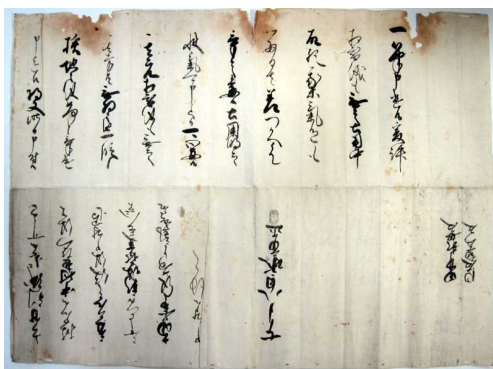
大北家文書

大北家文書は、総点数二十点で元和年間（一六一五〜一六二四）と比定される宗義成書状が最も古く、明治時代までを含む。内訳は近世文書十五点、近代文書五点である。

大北家は、高槻藩で主に徒手目付を勤めた高槻藩士である。平成十五年に寄贈をうけ、藩関係文書は、市立しろあと歴史館平成十八年の特別展「永井家十三代と高槻藩」などで展示公開した。

さて、近世文書のうち、大北家と文書発給関係にないが、対馬藩の宗義成書状（文書番号11）や十一代将軍・徳川家斉黒印状（文書番号13）が伝蔵している。文書の内容は、形式的な歳暮儀礼と借家手形である。また、

特記すべきは、高槻藩永井家二代藩主・直時書状（文書番号10・12）がある。藩主直時が、家老の田中頼母・内藤勘右衛門の二人に宛てた書状は、



文書番号12 永市正（永井直時）書

家臣の任命や延宝七年（一六七九）の延宝検地を指示する内容として興味深いものである。大北家と家老家となんらかの関係があったのかもしれない。さらに、高槻藩家臣団の構成を知る好史料に「御当家古分限帳」（文書番号14）がある。寛文十年（一六七〇）段階のものを後に写したもので、初代藩主・永井直清時代の家臣の名前・石高・

役職などを記している。「分限帳」とは、大

名の家臣の名前、禄高、地位（家格）、役職などを記した帳面で、藩政を知る基礎資料となる。本帳は、禄高をもつ藩士を冒頭に、無高で扶持米支給の藩士・足軽やお抱

えの医師・職人・町人などを列記している。

（西本幸嗣「高槻藩永井家の分限帳について」『しろあとだより』第六号、高槻市ホームページで公開）

次に、藩勤めのための備忘録類（文書番

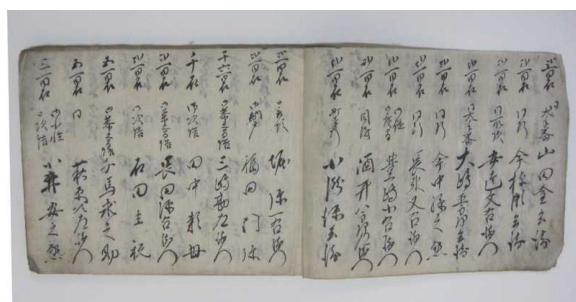
号2・5）が残る。内容は、文化七年（一八一〇）の高槻藩が行った日光東照宮への將軍代参に関する文書である。また、嘉永四・五年（一八五一・

五二）に行われた高槻藩の鹿狩りの行列や手順などを記録したもの（文書番号6・7）がみられ、獲物を仕留めたときの判定方法など詳細に書き留めている。嘉永期（一八四八〜五四）、高槻藩が異国船到来への準備を進めていたところ、軍事演習として、川久保（高槻市）や車作山（茨木市）方面

で鹿狩りが行われた。幕末の高槻藩の動向の一端をみる事ができる文書である。近代文書のうち、高槻藩庁から大北次郎を史生試補（書記官補佐）に任命した文書（文書番号18）は、約二年あまりの藩庁時代の文書として

貴重である。

（西本幸嗣）



文書番号14 御当家古分限帳

大北家文書目録

近世

文書番号	一括状況	文書名	年号	月	日	西暦	差出	宛名	形状	数量	法量	整理番号	備考
1	—	無宿政蔵、中西恒蔵一件	文化6	3	—	1809	石田牧貞（花押）	—	横半帳	1	12.0 × 17.0	06	・表紙に「神善金吾、田中権助、大口逸兵衛御極并屋敷長屋引杯」とあり ・内容年代（文化6年3月～5月）
2	折込	日光御名代諸御入用帳	文化7	4	—	1810	—	—	横帳	1	12.0 × 32.5	07-01	・柱書に「御供銘々御手当金」とあり
3	折込	〔石高書上〕	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0 × 33.0	07-02	・「卯納」などとあり
4	—	柳心流目録	弘化1	12	—	1844	瀧山磯太夫忠（花押）	大北清五郎殿	卷子	1	16.4 × 520.5	17	・袖に「心我無別」とあり
5	—	諸事控（殿様上京ノ節ノ品物覚等ニ付）	天保15	—	—	1844	斎藤氏	—	横半帳	1	10.3 × 15.7	08	・内容年代（文政10年2月～天保14年）
6	—	御鹿狩御法令并御手合帳	嘉永4	3	—	1851	大北清五郎	—	横半帳	1	7.5× 12.5	09	・表紙に「江戸方ニ而大北湯浅御供御自領塚田」とあり
7	—	車作山鹿狩行列帳	嘉永5	4	3	1852	大北清五郎	—	横帳	1	8.5× 17.5	10	
8	—	柳心流目録	安政5	1	—	1858	滝山態之允忠童（花押）	大北豊太郎殿	卷子	1	17.6 × 381.5	16	
9	—	覚（去ル西歳城州、河州、撰州大川筋御普請御普請御入用銀請取ニ付）	文久4	2	11	1864	炭屋安兵衛（印）、鴻池屋善右衛門（印）	永井飛驒守様御領分、撰州嶋上郡四拾四ヶ村、嶋下郡式拾七ヶ村、住吉郡式ヶ村庄屋、年寄中	一紙	1	33.0 × 45.6	11	
10	—	〔市正書状〕	—	4	19	—	市正（印）	田中頼母殿、内藤勘右衛門殿	一紙	1	15.7 × 43.6	03	・服部惣兵衛事依役申付候ニ付
11	—	〔宗対馬守書状〕	—	5	17	—	宗對馬守義成（花押）	板倉周防守様 参人々御中	一紙	1	18.0 × 50.0	01	・粟田口尊勝院之近所町屋借申度ニ付
12	—	〔永市正書状〕	—	7	8	—	永市正（印）	田中頼母殿、内藤勘右衛門殿	折紙	1	31.2 × 42.5	04	・延宝検地の伺い ・昨日申付候書付別紙ニ遣候并ニ中村惣左衛門役儀申付ノ儀ニ付

13	—	〔徳川家斉黒印状〕	—	12	27	—	(印) 「家斉」	永井飛驒守との	一紙	1	22.8 × 60.7	05	・為歳暮之祝儀小袖一重到来ニ付
14	—	御当家古分限帳	—	—	—	—	—	—	横半帳	1	12.4 × 17.2	02	・最終丁に「寛文成年改有之候写者也」とあり・表紙に「大北所持」とあり
15	—	万宝記（扶持米並江戸道中雑用定等ニ付）	—	—	—	—	—	—	横帳	1	9.2× 20.6	12	・破損のため年代判読できず

近現代

文書番号	一括状況	文書名	年号	月	日	西暦	差出	宛名	形状	数量	法量	整理番号	備考
16	—	徒士目附心得書	明治3	9	—	1870	大北	—	横帳	1	8.5× 17.6	13	
17	封筒	〔封筒〕	—	—	—	—	—	—	封筒	1	23.5 ×9.2	14-0	
18	封筒	〔任命書〕	明治3	閏 10	—	1870	高槻藩庁（印）	—	一紙	1	16.3 × 28.6	14-01	・大北次郎八史生試補申付ニ付
19	挟込	〔大島家々訓〕	明治29	3	25	1896	如楓圭介手記	—	縦帳	1	16.7 × 22.1	15-01	
20	挟込	助郷合人足村々出ス事 （鮎川筋急破御普請被 仰付候ニ付）	—	—	—	—	—	右村々庄屋年寄御中	一紙	1	9.3× 39.0	15-02	15-01の15丁目と16丁目の間に挟込まれていた文書